

紀要

29

滋賀県出土の「丸石」研究ノート小島 孝修(1)

古代における土器製作技術の一側面

—長浜市横山城遺跡出土カマド形土器を中心にして—辻川 哲朗(8)

将棋史研究ノート7

—桂馬と香車の動きと性格—三宅 弘(17)

中世塩津港の開発重田 勉(21)

滋賀県内における遺跡出土の石臼

—集成と地域的特徴の把握—加藤 達夫(27)

滋賀県内における遺跡出土の石臼

—集成と地域的特徴の把握—

加 藤 達 夫

1. はじめに

日本における石臼の研究の先駆者である三輪茂雄氏が、滋賀県米原市曲谷の石臼について紹介してから今年で41年目になる（三輪1975a）。氏は、近・現代の石臼を精力的に研究したが、遺跡から出土する石臼についても注目し、いくつかの資料を紹介するとともに、その用途についても言及している（三輪1975b）。その後1980年代から現在にかけて、滋賀県内では多くの発掘調査がおこなわれ、調査報告書においても、石臼が掲載される機会が増加している。それをうけて、集成作業も2回おこなわれている（伊吹町教育委員会1994、國分1997）。

國分政子氏によって集成作業がおこなわれてからすでに18年あまりが経過し、現在にいたるまで資料数が増加し続けているが、集成作業はおこなわれていない。これまでに筆者は、妙楽寺遺跡および膳所城遺跡出土の石臼の資料紹介をしてきた（加藤2015a, 2015b）。しかしながら、滋賀県内における出土資料の全体像を把握するにはいたっていない。出土資料の把握は、今後の石臼研究を進めていくうえで土台となる基礎的作業である。

本論の第1の目的は、現時点での出土事例に対する集成作業をおこない、地名表を作成し、出土資料の現状把握を試みることである。さらに、先行研究を参考として、形態・素材に関する属性を設定し、それらを概観することで、滋賀県の地域的な特徴をつかむことが第2の目的である。

2. 集成の方法と条件

方法 集成作業は滋賀県内の発掘調査報告書を対象とし、掲載されている実測図・写真図版・記載内容を確認し地名表を作成した。

石臼の定義 今回の集成作業をおこなうにあたり、その対象を定義したい。我が国において、「石臼」の語が指す対象は複数ある。①鉢型をし、杵を用いて対象を搗きつぶす石臼と、②2個の円筒形の部品を組み合わせ、回転運動により対象を磨りつぶす石臼である。本稿では、②を対象とする。文章のみで石臼と記載されている資料については、形態の記載などから明らかに②と判断できるものについて地名表に追加した。判断できないものは除外した。

器種 ②の石臼には抹茶を製造する臼と、穀物などを製粉する臼とがある。報告書では、前者が石臼もしくは茶臼とよばれ、後者にたいしては磨り臼・粉ひき臼・石臼など様々な呼称が用いられており、統一はされていないのが現状である。本稿では前者を茶臼、後者を石臼と呼ぶことにし、この2種類の器種を対象として集成した。対象となる資料

は、出来る限り実見したうえで地名表に記載したが、時間の都合上、実見できなかった資料については、報告書に掲載されている実測図・写真・資料についての記載内容を確認して記載した。実測図・写真と資料についての記載内容に明らかな齟齬が認められる場合には、筆者の判断によりこれを修正した。また資料を実見して記載と齟齬が認められる場合もこれを修正した。

3. 属性の設定（図1・2）

形態に関する属性を設定するにあたり、参考としたのは三輪氏と高橋順之氏及び筆者による先行研究である（三輪1975b、伊吹町教育委員会1994、加藤2015b）。茶臼・石臼の模式図と各部分の名称は図1に示した。設定した各部位の名称と属性については、図2に示す。

共通の属性 上・下臼で共通する属性として、分画数・副溝の本数を設定した。分画数は、磨り合わせる面に刻まれる主溝（臼の中心から放射状にのびる溝）により分割される区画で、区画の数を数えた。破片の場合、主溝により等分されていると仮定したうえで推定した。副溝は分割された区画ごとに主溝に並行するように彫られる溝で、区画ごと本数を数えた。

上臼の属性 上臼に固有の属性として、挽き木の取り付け方法・供給口の平面形・くぼみの形態・芯棒受けの形態を設定した。挽き木の取り付け方法は、側面に穴をあけてL字型の挽き木を側面から打ち込み固定する「横打ち込み式」と、側面に溝を彫り、側面にタガを締めたうえで上から打ち込む「タガ締め式」の2種を設定した。供給口の平面形は、供給口を上から見た場合の平面形で、円形（正円形・楕円形）と方形（正方形・長方形）を設定した。上臼上面のくぼみは、断面形で3種を設定した。縁から供給口に向かって緩やかにくぼむ「浅い皿形」、縁から下るラインと底のラインの交わる点が角になる「段のある皿形」、供給口に向かって漏斗のように深くくぼむ「漏斗形」である。芯棒受けの形態は、次の3種を設定した。断面形が「長方形・台形」になるものと、断面形が「三角形」になるもの、上面から下面まで貫かれる「貫通形」である。

下臼の属性 下臼は、下面の加工の状態に注目して3種を設定した。下面を皿状にくぼませる加工をおこない、断面形が三角形に近似する「断面三角形」、下面をくぼませかつ縁を大きく削り落す「断面下に凸」、下面をほとんどくぼませないため、断面が長方形に近似する「断面長方形」である。芯棒穴が貫通していないものは「不貫通形」とした。

石材の属性 石材については、出来る限り資料を実見し肉

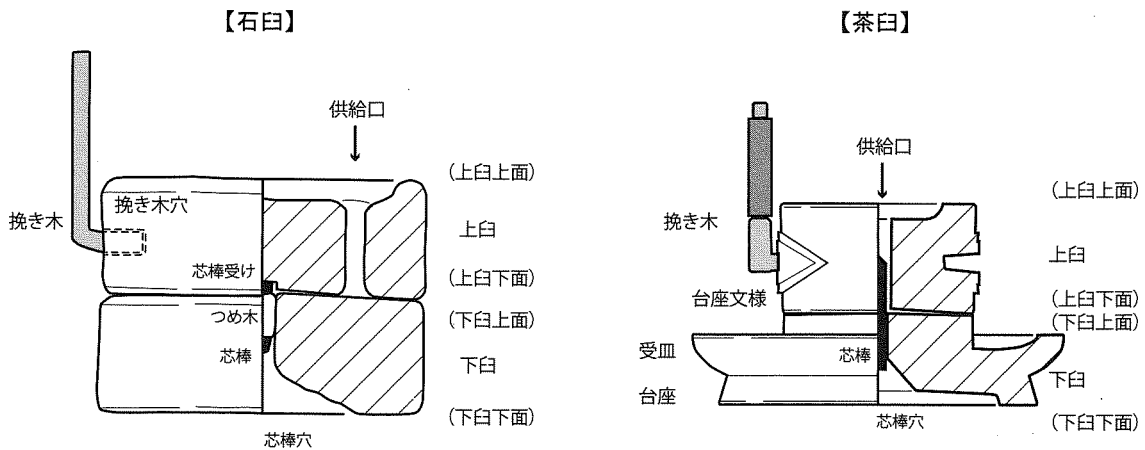


図1 石臼・茶臼の各部位の名称

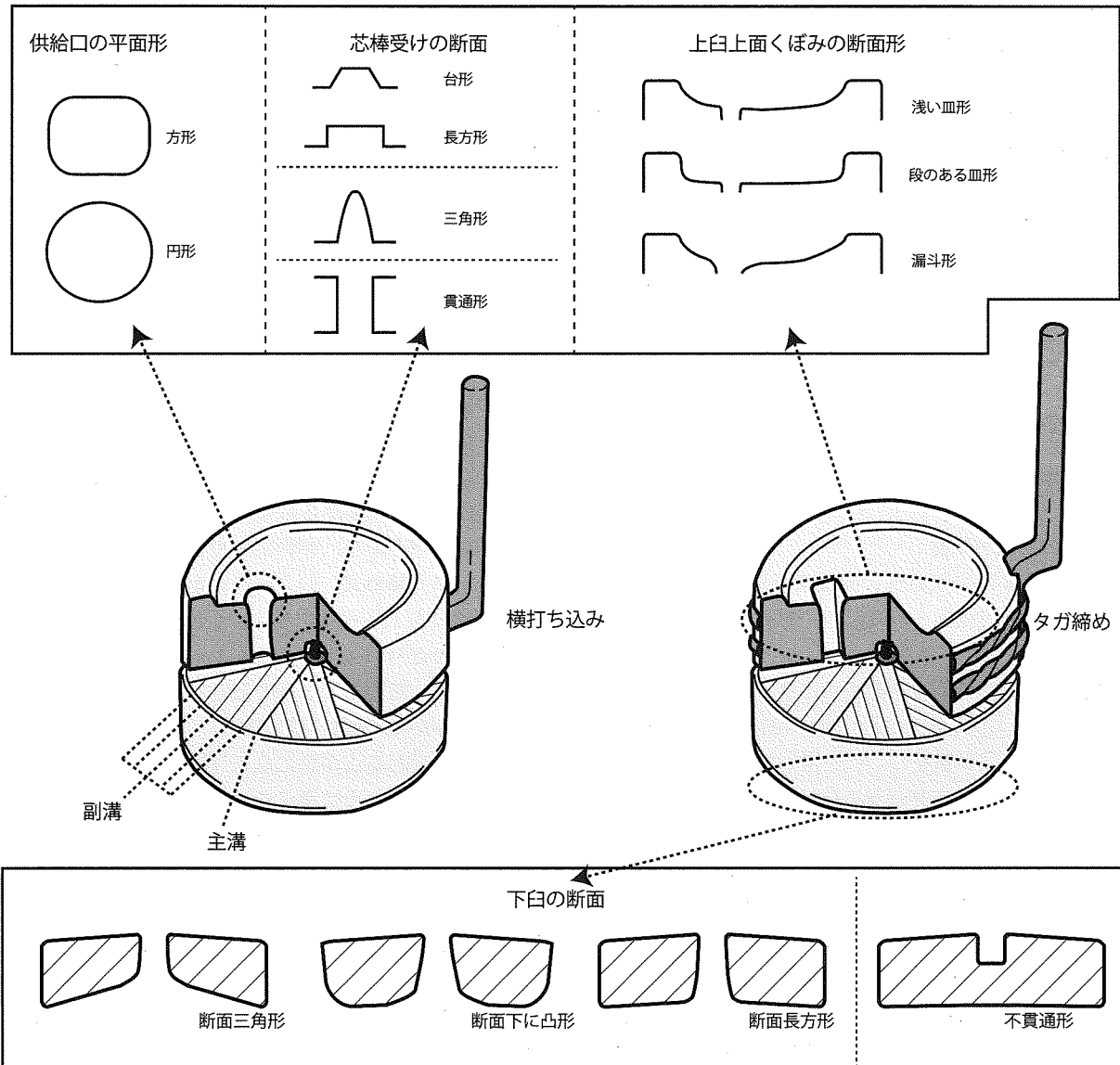


図2 石臼の模式図と属性

眼観察によって石材の種類を確認した。実見できなかった資料については報告書の記載をそのまま用いた。これまでに報告されている、花崗岩・石英斑岩^①を設定し、それ以外の石材はその他とした。その他の石材のうち、その種類が分かるものは略して記載した。

4. 集成結果の概要（図3、表1）

出土点数 地名表を表1に示す。現時点で滋賀県内では54遺跡、199点の出土資料が確認できた。うち茶臼は33点、石臼は166点^②であった。細片化しているものが多く、完形品は極わずかである。

遺跡・遺構 出土する遺跡は城跡・城館跡・寺院跡・集落跡が多い。時期は室町時代～明治時代までと幅広いが、室町時代～安土桃山時代のものが多い。出土遺構は、土坑・掘立柱建物跡の柱穴・溝跡・井戸跡・石組・石垣・石積みなどがあり破片を廃棄・転用したものが多い。米原市石臼生産遺跡（53）では、完形品2点のほか、原石（素材）・未製品・失敗品をあわせて、117点が出土している。生産地ならではの出土点数といえる。なお、素材・未製品・失敗品については設定した属性が適用できないため地名表には記載しなかった。

分布の傾向 分布の状態を図3に示す。県下全域から出土している。県東部、なかでも平野部の琵琶湖に近い遺跡に偏る傾向がある。1遺跡からの出土点数が10点未満の遺跡が大半を占めるなかで、10点を超える出土が認められる。彦根市妙楽寺遺跡（12）のほか、彦根市佐和山城跡（10）・彦根市肥田城跡（13）・大津市関津遺跡（46）などである。

5. 臼の形態について（図4）

分画数・副溝 取り扱った資料の大半は破片資料であるため、各属性について読み取れるもののみ集計した。まず、茶臼・石臼に共通する分画数・副溝について述べる。

【分画数】 分画数は8分画が38点、7分画が1点、6分画が6点であった。8分画が主体である。わずかに7・6分画に推定されるものも認められた。また、桜内遺跡（1）の上臼（No.1）の主溝の彫り方は通常の8分画とは異なっていた。図4に桜内遺跡出土の石臼と、分画の模式図を示す。この石臼の主溝は、明らかに臼の中心から外れており、主溝は中心に向かうのではなく、芯棒受けの円周に外接するように彫られている。このような例は、地蔵遺跡（28）の上臼（No.123～125）にも認められた。

【副溝】 副溝については、1個体中でもその本数に幅があり、ばらつきが大きく集計できなかった。

つぎに、茶臼・石臼について上・下臼の別にその形態について述べる。

茶臼の形態 33点の資料中、上臼が9点、下臼が23点、不明が1点であった。すべての資料が、細片化しているため、何らかの特徴を見出すことはできなかった。そのため、

現時点で把握できる点のみ述べる。

【上臼】 上臼の挽き手の取り付け方法は横打ち込み式のみである。挽き木の台座文様が残存している例は佐和山城遺跡（10）の上臼（No.47）・光明寺遺跡（36）の上臼（No.142）・膳所城下町遺跡（48）の上臼（No.184）である。佐和山城遺跡の資料は菱形と推定され、他は子持ち菱型（菱形のなかにさらに相似の菱形をつくるもの）である。芯棒穴は供給口を兼ねており、残存しているものは全て円形で、上面から下面まで貫通している。なお光明寺遺跡出土品には塗布された黒漆が側面と上面に残存している。

【下臼】 下臼については、細片となっている資料が大半であるが、いずれも受け皿を作りつけている。特に受け皿の縁部分の破片が出土する例が多く認められる。

石臼の形態 166点中、上臼が82点、下臼が82点、不明が2点であった。石臼生産遺跡の上・下臼の各1点と（No.197, 198）、妙楽寺遺跡出土の下臼（No.68）、二町鏡（41）遺跡の上臼（No.199）、関津遺跡の上臼（No.175）以外は、すべて破片資料である。

【上臼】 挽き手の取り付け方法はタガ締め式と横打ち込み式の2種類である。タガ締め式は23点、横打ち込み式は2点で、タガ締め式が多くを占める結果となった。

上田上牧遺跡（43）の資料（No.159）は、3カ所挽き木を取り付けた痕跡があり、横打ち込み式で2カ所、タガ締め式で1カ所である。横打ち込み式の穴は、それぞれ高さや位置が異なり、少なくとも1回は付け替えられている。タガ締め式の溝はこれらの穴とは別の位置に設けられている。切合わないため、先後関係は不明である。また、関津遺跡の資料（No.172）でも、1個体の中で両者が認められた。

タガ締め式の資料のうち関津城遺跡の資料（No.175）では対角位置に2カ所設けている。滋賀県において、異なる取り付け方法の痕跡が併存する石臼と、対角位置に挽き木を取り付ける溝を設ける石臼の報告例は以前にはなかった。

供給口の形態は、楕円形が25点、長方形が10点で、楕円形が多い。上面のくぼみは、浅い皿形が58点、段のある皿形が7点、漏斗形が10点で、浅い皿型が多くを占めた。芯棒受けの断面形は、長方形・台形が18点、三角形が10点で、貫通が2点あり、長方形が多い傾向があった。

【下臼】 下臼については、断面三角形が28点、断面下に凸が5点、断面長方形が44点である。断面長方形の物が多い傾向があった。なお、石臼生産遺跡出土の下臼（No.198）は、芯棒穴を下面まで貫通させないものが認められた。

6. 使用石材

茶臼 茶臼については実見しておらず全て報告書に記載されている内容をそのまま用いている。その結果、6種類の石材が認められた。花崗岩1点、閃緑岩4点、安山岩3点、

表1-1 滋賀県内出土の石臼・茶臼の地名表

遺跡の番号	遺跡名	市町名	石臼の番号	出土遺構名/掲載番号	時期	分面数	副溝数	器種	上下の別	石材	残き木	供給口	くぼみ	芯構受け	下目	文獻
1	松原内湖遺跡	彦根市	1	不明/本遺(報告非掲載)	不明	-	8 4~6	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	本編
2	小谷城跡	長浜市	2	京極丸/第38図-1	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	伊吹町教育委員会(1994)
3			3	不明/第38図-2	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
4			4	不明/第38図-3	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
5	上平寺遺跡	米原市	13	鳥洗池/第38図-4	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
6			6	大仏開跡/70図	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	湖北町教育委員会(1976)
7			7	不明/71図	室町時代~安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2007)
8	総持寺遺跡	長浜市	8	溝状遺構S01/第7-38	安土桃山時代~江戸時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	本編
9	勝町	長浜市	9	家王/本遺	不明	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
10			11	現石垣/第13図-S-1	不明	8 5	5	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
11			12	現石垣/第13図-S-1	不明	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
12			13	井戸SE2/第35図-S-7	室町時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2003)
13			14	榎木風1/第35図-S-9	不明	16 5	5	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
14			15	土坑SK2/文庫に記載	室町時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
15			16	井戸SE1/第33図-144	室町時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
16			17	井戸SE2/第33図-291	室町時代	18 5~6	5~6	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	伊吹町教育委員会(2001)
17			18	井戸SE2/第33図-292	室町時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
18			19	井戸SE2/第33図-293	室町時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
19			20	石垣遺構0402/第28図-125	室町時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2003)
20	上平寺南館遺跡	米原市	21	外堀の法面/第38図-126	室町時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
21			22	墓地南/3711-1	不明	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1987)
22			23	140の包舎/第47-8186	不明	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
23			24	140の包舎/第47-8187	不明	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
24			25	190の4層(遺構面上)/第4-85-S222	室町時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2014)
25			26	190の4層(遺構面上)/第4-85-S223	室町時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
26			27	土坑SK07(埋蔵?)/第4-111-S226	不明	18 6~7	6~7	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
27			28	平坦地造成土(0地)/第25-S3	安土桃山時代	18 5	5	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
28			29	SE2の井穴(P8)/第45-S12	安土桃山時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2012)
29			30	土坑SK4/第63-S82	安土桃山時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
30			31	S02070/第39図-58	不明	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2015a)
31			32	表掘/第17図-24	不明	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
32			33	堀S003/第42図-139	安土桃山時代	8 6	6	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
33			34	堀S003・堀跡/第49図-188	安土桃山時代	8 6	6	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
34			35	堀S003・堀跡/第49図-199	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
35			36	堀S003・堀跡/第49図-200	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
36			37	堀S003・堀跡/第49図-201	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
37			38	堀S003・堀跡/第49図-202	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
38			39	堀S003/第57図-273	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
39			40	堀S003/第57図-274	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
40			41	堀S003/第57図-274	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
41			42	堀S003を切る井戸/第57図-276	江戸時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2013a)
42			43	堀S003を切る井戸/第57図-277	江戸時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
43			44	堀S003を切る井戸/第57図-278	江戸時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
44			45	堀S003を切る井戸/第57図-279	江戸時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
45			46	井戸/第16図-414	江戸時代	-	-	石	下	●	○	○	○	○	下面の断面	
46			47	堀S005/第99図-605	安土桃山時代	18 9	9	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
47			48	井戸SK11/第111図-653	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
48			49	井戸SK11/第111図-654	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	
49			50	井戸SK11/第111図-655	安土桃山時代	-	-	石	上	●	○	○	○	○	下面の断面	

表1-2 滋賀県内出土の石臼・茶臼の地名表

遺跡の番号	遺跡名	市町名	石臼の番号	出土遺構名/掲載番号	時期	分面数	剖面数	上下の別	石材	挽き木	供給口	くほみ	芯構受け	下の断面	文献
								上	下	横	縦	角	角	角	
								別	花崗岩	花崗岩	花崗岩	花崗岩	花崗岩	花崗岩	
10	佐和山城跡	彦根市	51	井戸SX11/第11図-656	安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	-	不明	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2013a)
			52	井戸SX11/第11図-657	安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
			53	井戸SX11/第11図-658	安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
			54	井戸SX11/第11図-659	安土桃山時代	-	6	石	下	-	-	-	不明		
			55	溝S02/第6-19	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
11	一ツヤ遺跡	彦根市	56	不明/図7-石1	安土桃山時代	8	6～7	石	上	○	○	○	○	不明	
			57	不明/図7-石2	安土桃山時代	8	5	石	上	○	○	○	不明		
			58	不明/図8-石3	安土桃山時代	8	4～6	石	上	○	○	○	不明		
			59	溝S0463/図8-石54	安土桃山時代	6	8	石	上	○	○	○	不明		
			60	不明/図8-石55	安土桃山時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
12	妙楽寺遺跡	彦根市	61	不明/図8-石56	安土桃山時代	8	4	石	上	○	○	○	○	不明	
			62	石組拵S460/図8-石57	安土桃山時代	8	5	石	上	○	○	○	不明		
			63	不明/図9-石58	安土桃山時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			64	不明/図9-石59	安土桃山時代	8	6～7	石	上	○	○	○	不明		
			65	包舎層/図9-石10	安土桃山時代	8	4～7	石	上	○	○	○	不明		
13	肥田城遺跡	彦根市	66	不明/図10-石11	安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	-	不明	
			67	石組拵S464/図10-石12	安土桃山時代	8	5～6	石	下	-	-	-	不明		
			68	不明/図10-石13	安土桃山時代	8	6～7	石	下	-	-	-	不明		
			69	包舎層/図10-石14	安土桃山時代	8	4～5	石	下	-	-	-	不明		
			70	包舎層/第15図-6541	安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
14	敏満寺遺跡	多賀町	71	包舎層/第15図-8402	安土桃山時代	-	-	茶	下	-	-	-	-	不明	
			72	不明/文庫に記載	江戸時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
			73	表座/文庫に記載	江戸時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
			74	表座/文庫に記載	江戸時代	-	-	茶	下	-	-	-	不明		
			75	包舎層/図13-54	不明	-	-	石	上	-	-	-	不明		
15	檀崎古墳群	多賀町	76	ピットS214/第112図-1117	室町時代	6	4	石	上	○	○	○	○	不明	
			77	溝S204/第105図-1034	室町時代	-	-	茶	下	-	-	-	不明		
			78	溝S190/第105図-1021	室町時代	6	3～6	石	上	○	○	○	不明		
			79	溝S190/第104図-1013	室町時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
			80	溝S190/第104図-959	室町時代	-	5	石	上	-	-	-	不明		
16	尼子西遺跡	甲良町	81	S81の柱穴(S232)/第59図-1110	室町時代	-	2～5	石	上	○	○	○	○	不明	
			82	溝S2/第14図-553	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			83	溝S2/第14図-554	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			84	溝S2/第14図-555	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			85	溝S2/第14図-556	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
17	多賀町	多賀町	86	溝S2/第14図-557	室町時代	-	-	茶	下	-	-	-	-	不明	
			87	溝S12/第87図-690	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			88	溝S12/第87図-691	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			89	溝S12/第87図-692	室町時代	-	7	石	下	-	-	-	不明		
			90	溝S12/第87図-693	室町時代	-	-	石	下	-	-	-	不明		
18	多賀町	多賀町	91	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	○	不明	
			92	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			93	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			94	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			95	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
19	多賀町	多賀町	96	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	○	不明	
			97	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			98	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			99	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		
			100	溝S105/第97図-912	室町時代	-	-	石	上	○	○	○	不明		

表1-3 滋賀県内出土の石臼・茶臼の地名表

遺跡の番号	遺跡名	市町名	石臼の番号	出土遺構名/掲載番号	時期	分画数	副溝数	遺構別	上下	石材	残き木	供給口	上白くほみ	芯構受け	下面の断面	文献
17	正栄寺遺跡	甲良町	101	池ノ口11	江戸時代	-	-	茶下	茶下	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1997)
18	安土城跡	近江八幡市	102	佐野寺遺跡/第13図-101	安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1996a)
			103	旧観音寺境内内庭住持/第30図-280	江戸時代	-	-	茶上	茶上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1996b)
			104	大平遺跡(石垣20~30)/第28図-122	江戸時代	-	-	茶上	茶上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1997)
			105	大平遺跡(石垣85)	安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	安	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1995)
19	安土城下町遺跡	近江八幡市	106	大平遺跡(石垣85)	安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	近江八幡市教育委員会(2012)
20	観音寺城跡	近江八幡市	107	井戸SE9/第13図-48	安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	安	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1971)
			108	本丸屋敷跡/PL 31	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	安	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1971)
21	恩寺遺跡・金剛寺遺跡	近江八幡市	109	本丸屋敷跡/PL 31	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	安	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会(1971)
			110	土坑SK0805/第28図-47	室町時代~安土桃山時代	8	5~6	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1993)
			111	表様/第44図-253	不明	-	-	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1994)
22	後川遺跡・高木遺跡・八甲遺跡	近江八幡市	112	土坑SK03/第12図-80	不明	-	-	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1999)
			113	土坑SK03/第12図-81	不明	-	-	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1999)
			114	土坑SK03/第12図-82	不明	-	-	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1999)
23	後川遺跡	近江八幡市	115	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	6	4	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1999)
			116	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	6	4	石上	石上	花崗岩	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1999)
24	里井6遺跡	近江八幡市	117	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	7	茶下	茶下	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2005b)
			118	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	7	茶下	茶下	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2005b)
25	長野遺跡	愛荘町	119	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
26	島川遺跡	愛荘町	120	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
27	栗田城遺跡	愛荘町	121	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
			122	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
			123	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
			124	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	-	-	茶上	茶上	砂	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	愛知川町教育委員会(1999)
28	地蔵遺跡	東近江市	125	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			126	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			127	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			128	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			129	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
29	法源寺北遺跡	東近江市	130	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			131	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
30	百寿寺遺跡	東近江市	132	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			133	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			134	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
31	野村北遺跡・小山遺跡・徳屋遺跡	東近江市	135	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
32	柏氏館遺跡	東近江市	136	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
33	浄土屋敷	東近江市	137	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
34	野野遺跡・高野館遺跡	東近江市	138	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
35	吉地大寺遺跡	野洲市	139	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			140	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			141	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
36	光明寺遺跡	野洲市	142	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			143	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			144	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
37	常楽寺遺跡	野洲市	145	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
38	野々宮遺跡	野洲市	146	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			147	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
39	竜王山遺跡	竜王町	148	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)
			149	土坑SK-W22/第11図-85	室町時代~安土桃山時代	8	3~5	石上	石上	湖	木	石臼	石臼	石臼	三角に凸	東近江市教育委員会(2010b)

表1-4 滋賀県内出土の石臼・茶臼の地名表

遺跡の番号	遺跡名	市町名	石臼の番号	出土遺構名/掲載番号	時期	分面数	彫溝数	石材		残基木	供養口	上臼		芯棒受け	下臼		文献				
								花崗岩	その他			角の欠ける皿	三角の皿		角の欠ける皿	三角の皿		下面の断面	下面の断面		
40	欲賀南遺跡	守山市	130	土坑SK-236/第36図-473	不明	-	5~8	石	下	●	-	-	-	-	-	○	-	守山市教育委員会(2012)			
			151	土坑SK-163/第66図-814	室町時代～安土桃山時代	-	4~5	石	下	●	-	-	-	-	-	-	○		-		
			152	土坑SK-186/第66図-817	室町時代～安土桃山時代	8	5	石	下	●	-	-	-	-	-	-	-		○	-	
			153	土坑SK-189/第66図-818	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	
			154	土坑SK-186/第66図-819	不明	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○		○	-	
41	二町鎌遺跡	守山市	156	不明/651に写真	不明	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	財団法人滋賀県文化財保護協会(1991)				
42	久徳家池遺跡	栗東市	155	盛土層/図版10-29	不明	-	-	石	下	●	-	-	-	-	-	-	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1986)				
43	中畑遺跡	草津市	157	井戸SEB/第103図-969	室町時代～安土桃山時代	8	5~7	石	下	●	-	-	-	-	-	-	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2005c)				
44	高野城遺跡	甲賀市	158	基礎/第59図-17-37	不明	-	-	茶	上	○	○	○	○	○	○	○	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2008)				
45	上田上牧	大津市	159	井戸SE01/第32図-32	室町時代～安土桃山時代	-	-	茶	上	○	○	○	○	○	○	○	-	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1998)			
			160	溝S13/図38-524	室町時代～江戸時代	6	4~5	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
			161	溝S13/図38-526	室町時代～江戸時代	-	-	茶	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			162	包倉層/図50-737	室町時代～江戸時代	8	4	茶	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			163	土坑SK8/図56-766	室町時代～江戸時代	8	3~6	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
46	関津遺跡	大津市	164	包倉層/図57-787	室町時代～江戸時代	8	5	石	下	○	-	-	-	-	-	-	-	-			
			165	溝S13/第23図-49	室町時代～安土桃山時代	6	4	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			166	溝S3・4/第30図-156	室町時代～安土桃山時代	8	4	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			167	溝S45/第34図-218	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			168	落ち込みS40/第36図-270	室町時代～安土桃山時代	-	7	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
47	関津遺跡	大津市	169	包倉層/第39図-315	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会(2015c)			
			170	包倉層/第39図-316	室町時代～安土桃山時代	-	5	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
			171	包倉層/第39図-331	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
			172	区画溝S55/第65図-658	室町時代～安土桃山時代	-	6	石	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			173	区画溝S55/第65図-659	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
48	関津遺跡	大津市	174	区画溝S55/第65図-661	室町時代～安土桃山時代	-	8	石	下	○	-	-	-	-	-	-	-	-			
			175	区画溝S55/第65図-660	室町時代～安土桃山時代	7	3~5	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		
			176	区画溝S55/第65図-662	室町時代～安土桃山時代	8	2~5	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			177	区画溝S55/第65図-664	室町時代～安土桃山時代	-	6	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			178	区画溝S55/第65図-663	室町時代～安土桃山時代	-	7	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
49	膳所城下町遺跡	大津市	179	区画溝S55/第67図-665	室町時代～安土桃山時代	8	5	石	上	○	-	-	-	-	-	-	-	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2005a)			
			180	旧河道S39/第70図-783	室町時代～安土桃山時代	-	-	石	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			181	旧河道S39/第74図-785	室町時代～安土桃山時代	-	6	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			182	包倉層/第70図-824	室町時代～安土桃山時代	-	6	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			183	北の丸南面石道の基込め/図5	江戸時代	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	加藤(2015b)	
48	膳所城下町遺跡	大津市	184	土坑S147/第123図-639	江戸時代	8	7~9	茶	上	○	○	○	○	○	○	○	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2005a)				
49	大津城遺跡	大津市	185	土坑S302/第129図-708	不明	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	大津市教育委員会(2013)				
50	錦織遺跡	大津市	186	SK29/図22-345	江戸時代	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	本論				
51	西万木遺跡	高島市	187	石組ピット/本橋	江戸時代	-	-	石	下	○	-	-	-	-	-	-	-	-			
			188	不明/本橋	不明	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			189	区画溝S1/図4-17-147	室町時代	-	-	石	下	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			190	土坑S21/図4-23-206	室町時代	8	9~11	茶	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			191	井戸S85/図4-32-306	江戸時代	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	新庄城遺跡	高島市	192	井戸S85/図4-32-307	江戸時代	-	-	茶	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			193	包倉層/第27図-133	江戸時代	8	17	茶	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			194	包倉層/第5図	江戸時代	-	-	石	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(1991)	
			195	包倉層/第5図	江戸時代	-	-	石	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			196	包倉層/第5図	江戸時代	8	10	茶	上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	石臼生産遺跡	米原市	197	不明	江戸時代～明治時代	8	5~6	石	上	○	○	○	○	○	○	○	伊吹町教育委員会(1994)				
54	畠澤寺西遺跡	多賀町	198	不明	江戸時代～明治時代	6	6~8	石	下	-	-	-	-	-	-	-	滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会(2002)				
			199	溝S010/第16-38	室町時代	-	-	茶	下	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

閃：閃綠岩・花閃：花崗閃綠岩・安：安山岩・湖：湖東流紋岩（溶結凝灰岩）・流：流紋岩・効：効谷石（火山礫凝灰岩）・ア：アブライト・砂：砂岩

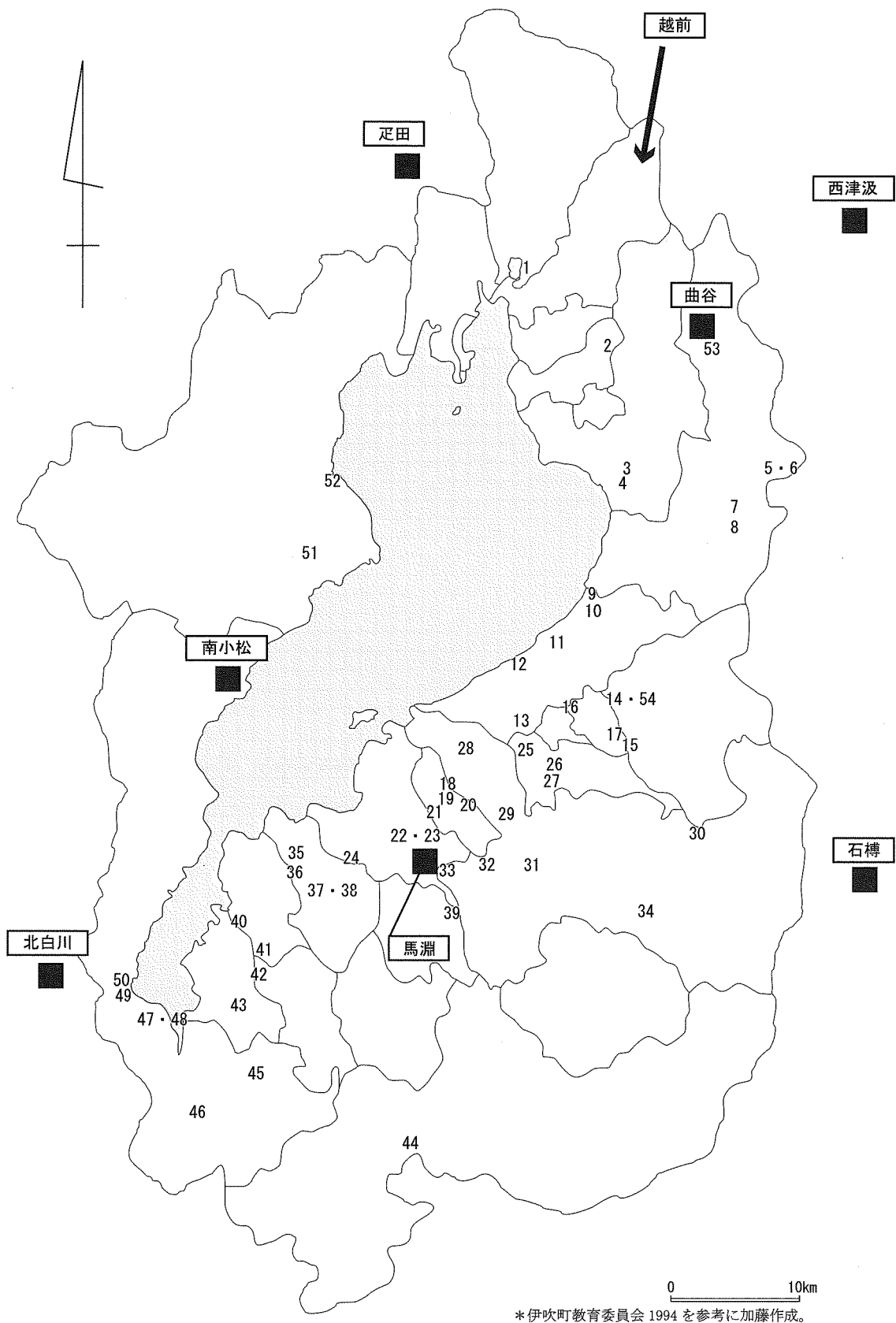


図 3 各遺跡の位置と石臼の生産地

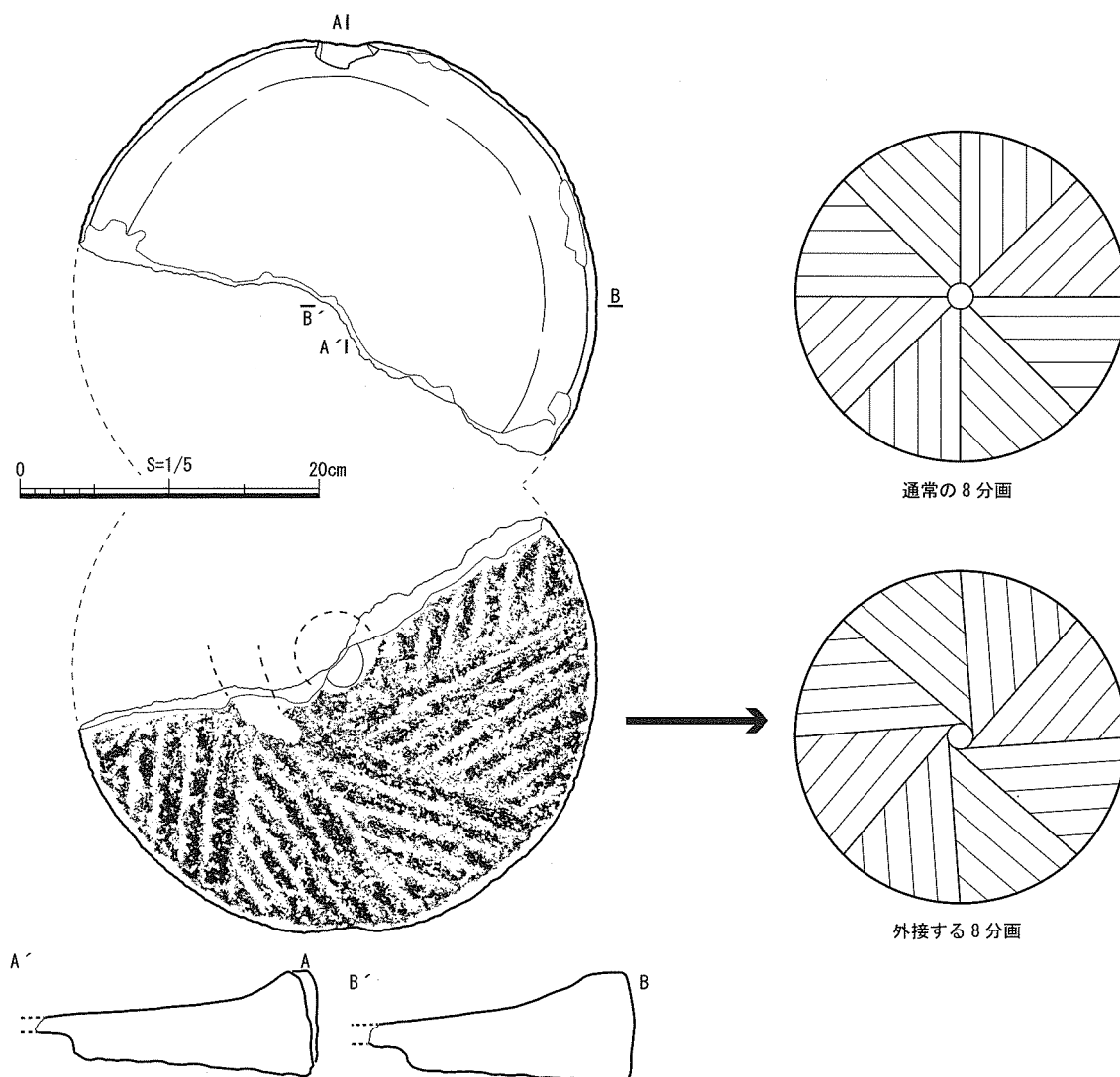


図4 桜内遺跡出土の石臼と模式図

砂岩3点・湖東流紋岩（溶結凝灰岩）1点・笏谷石（火山礫凝灰岩）1点⁽³⁾である。

石臼 石臼については一部実見した。使用されている石材は、花崗岩が112点、石英斑岩（花崗斑岩を含む）が8点、湖東流紋岩（溶結凝灰岩）が2点、流紋岩と推定される物が2点、安山岩・花崗閃緑岩・アプライトが各1点である。

7. 見いだされた地域的特徴

事例の増加 集成作業により茶臼・石臼ともに資料数が大幅に増加した。先述の國分氏による1997年の集成時点で64点⁽⁴⁾であるから、18年間あまりで約3倍に増加している。分布の傾向に大きな変化はなく、県東部に偏在する傾向に変化はなかった。また、1遺跡あたりの出土点数が10点を超える遺跡も、妙楽寺遺跡のほかに、佐和山城跡・肥田城跡・関津遺跡が加わり4遺跡となった。生産地である米原市曲谷の石臼生産遺跡の資料群を除けば、消費地に当たる遺跡で、1遺跡あたりの出土点数が10点を超える遺跡が複

数存在することは消費地について考えるうえで注目される。

分画数にみる特徴 分画数については、8分画が主体を占める。これは、三輪氏による、近畿地方では8分画が優勢であるという指摘（三輪1975b）に沿うものであり、滋賀県の地域的な特徴として首肯できる。また、芯棒穴に外接するように主溝が彫られる臼は三輪氏によって既に報告されている（三輪1975b）。このタイプの主溝の刻み方が滋賀県において見いだされたことは、新たな知見である。ただし、このような溝を彫った場合、どのような機能的意味があるのかについては不明である。

茶臼の特徴 茶臼の形態については上・下臼ともに出土点数が少なく、すべてが破片であるため、残念ながらこれといった地域的な特徴を見出すことは困難であった。あえて挙げるならば、台座文様が菱型もしくは子持ち菱型であったことである。

石臼の特徴 石臼については、形態的な特徴として、以下

の5点を挙げるができる。

①挽き木の取り付け方法はタガ締め式が主体 横打ち込み式の石臼が出土した遺跡は関津遺跡と上田上牧遺跡のみであり、かつ、これらの横打ち込み式の臼にはタガ締め式が併用されていた。これらから、横打ち込み式は滋賀県内では客体的な存在であり、タガ締め式が滋賀県での主流であったと、現時点では考えられる。また、一個体に複数の挽き木を取り付けた例がみられたことも新たな知見である。

②上臼上面のくぼみは浅い皿形が主体 浅い皿形のくぼみは、曲谷臼の特徴の一つとして挙げられている（三輪1975a）。しかし、この特徴を持つ石臼は、出土点数も多く分布範囲も広いことから、県内では普遍的といえる。さらに、漏斗形のくぼみをもつ石臼が見いだされたことは新たな知見である。このくぼみは、湿った素材を製粉する臼に見られるものである。たとえば、豆腐を製造する工程の吸水した大豆をすり潰す際に用いる石臼には、漏斗形のくぼみをもつものがある（三輪1975b）。製粉対象の乾燥状態の違いにより使い分けられていた可能性を示唆している。

③供給口の形態は方形と円形が混在 長方形の供給口は、曲谷産の石臼の大きな特徴であるとされ、その後の高橋氏の石臼生産遺跡の研究によってもそれは追認されている。（三輪1975a、伊吹町教育委員会1994）。今回の集成作業でも両者が確認できた。円形の供給口が多い傾向がある。

④芯棒受けには受け具がつく可能性がある 小谷城出土の石臼で芯棒受けの金具の存在が推定されている（伊吹町教育委員会1994）。この石臼（No.4）の芯棒受けの断面は長方形である。筆者が実見した妙楽寺遺跡の上臼（No.58）も断面が長方形であり、芯棒が接する部分に回転による磨滅が認められなかった。おそらくこれにも何らかの受け具が装着されていた可能性がある。これに対して、金具が存在しない可能性がある石臼もある。吉地大寺遺跡（35）出土の石臼（No.139・140）がそれで、芯棒受けの穴の径が小さく、断面形が三角形に近い。筆者は断面が台形・長方形の芯棒受けには、何らかの受け具が使用されていたと推定している。金具（木製である可能性もある）は腐食により脱落・消滅するため残らない場合が多い。そのため、より慎重な検討が必要だが、芯棒受けにキャップ状の金具をはめて使用する場合もあったと思われる。また、石臼で、茶臼と同様に芯棒穴が上面から下面まで貫通している物が、2点あった。現時点ではこれらの資料の芯棒穴が、摩耗によって貫通したのか意図的に貫通させたのかは不明である。

⑤下臼下面の加工 下臼については、下面をくぼませる加工をおこなう例と、おこなわない例とに大きく分かれた。現時点では両者の分布は入り混じっており、両者は併存している。

石材 石材についても、いくつかの新たな知見が得られた。

【笏谷石】なかでも、茶臼に用いられている笏谷石が注目される。笏谷石は福井県福井市の足羽山周辺で採掘される火山礫凝灰岩で（瓜生2015）、滋賀県内では産出しない岩石である。越前では様々な製品が制作され、滋賀県にも搬入されている。高橋氏によって滋賀県内に越前産の石臼が搬入されていることはすでに推定されている（伊吹町教育委員会1994）。敏満寺遺跡から出土した茶臼は笏谷石製であり、この推定を裏付けるものである。また、茶臼には閃緑岩・安山岩・砂岩などの多様な石材が用いられている。これらは県外からの搬入品である可能性が高いが、資料数が少なく、実見していない現時点では産地に関して言及できる段階にはない。

【花崗岩】石臼については、花崗岩を多く用いる傾向が認められた。花崗岩製の石臼が県下全域に分布し、その分布にも偏りが無いことから裏付けられる。

【石英斑岩】花崗岩に次いで多い石材は石英斑岩である。筆者が資料紹介をした妙楽寺遺跡の石臼2点にも用いられていたが（加藤2015a）、実見の結果、少なくとも狛氏館遺跡^⑤・関津遺跡の石臼にも石英斑岩が用いられていることが分かった。そのほかにも、浄土屋敷・吉地大寺遺跡で類する石材製の石臼が報告されている。したがって、この石材の石臼の分布は面的な広がりをもつようである。

8. おわりに—今後の課題

本論の集成作業によって、報告書に記載されている資料についてはおよそ網羅できたが、筆者の力不足により遺漏した資料や新出の資料は、今後追加し地名表を改定していきたい。

滋賀県内の遺跡から出土する茶臼については、資料数が不足しており、現時点で何らかの特徴を見出すことはできず、資料数の増加を待ち再度検討する必要がある。

石臼については、属性を設定したうえで集計し、上臼の挽き木の取り付け方法・供給口の平面形・上面のくぼみの形態・芯棒受けの構造、下臼の下面の加工について、特徴を挙げた。しかしながら、属性の設定方法についても検討の余地がある。今回設定した属性が、地域性を見出すために適切であるか否かの検討も必要であろう。

また、滋賀県の地域的な特色をより明確にするためには、同様の集成作業と集計を周辺地位である京都府・福井県・岐阜県・三重県等の資料群についても、おこなう必要がある。この点も今後の検討課題として残った。

石臼に用いられる石材は、地域により好まれる石材が異なり、産地について検討する上で重要な属性である。今回の集成では笏谷石製の茶臼が見出せたことで、越前からの茶臼の搬入を裏付けることができた。花崗岩製の石臼が非常に多いことも、滋賀県の特徴であると指摘できたが、滋賀県で産し、石造物などに利用される湖東流紋岩（溶結凝灰岩）や石英斑岩などの石材の利用率が低い理由についても

説明が必要である。石英斑岩については筆者が妙楽寺遺跡の資料紹介をおこなった時点では、その分布は点であったが、今回の集成により面としての広がりを確認することができた。今後、石材の実見をさらに行えばより詳細な分布範囲をえられ、生産地の推定ができる可能性がある。

本論では、集成作業をおこない、現状把握ができたことは一つの成果といえる。しかしながら、滋賀県の特徴については、属性を設定して形態的な特徴を挙げるにとどまり、検討課題も多く残った。今後は他地域の資料についても集成作業をおこない、比較検討することで課題に対する答えを見出したい。

〔付記〕本稿執筆にあたっては、阿刀弘史氏から御教示を得るとともに、鈴木康二氏には資料実見の御便宜をはかっていただいた。いずれも記してお礼申し上げる。

注

- (1) 前稿（加藤2015a）では花崗斑岩・石英斑岩を混用したが、本稿では石英斑岩で統一した。また、前稿では、黒雲母花崗岩としたが、本稿では花崗岩で統一した。
- (2) 肥田城遺跡出土の石臼（No.72）は、報告書の記載によると複数点が出土したことがうかがえる。しかし、実測図が掲載されていないために、やむを得ず1点として扱った。それゆえ、石臼の総点数は199点を超える。
- (3) 滋賀県埋蔵文化財センター阿刀弘史氏からご教示いただいた。
- (4) 彦根城からは、石製のミニチュア石臼が出土している（國分1997）。しかしながら、この資料は用途・サイズが大きく異なるため地名表には記載しなかった。
- (5) 整理調査の段階で、担当者であった鈴木康二氏のご厚意により実見させていただいた。

文献（著者名・刊行機関名50音順、刊行年順）

- 愛東町教育委員会（2003）『百斉寺遺跡分布調査報告書Ⅱ』（愛東町文化財報告書第10集）
- 伊吹町教育委員会（1994）『伊吹町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』（伊吹町文化財調査報告書第8集）
- 伊吹町教育委員会（2001）『上平寺遺跡・寺林遺跡』（伊吹町文化財調査報告書第14集）
- 瓜生由起（2015）『「越前狛犬」（笏谷石製の狛犬）の分析 福井市美山地区の調査結果を中心として』（福井県立歴史博物館紀要11、福井県立歴史博物館）
- 愛知川町教育委員会（1999）『長野遺跡』（愛知川町埋蔵文化財発掘調査報告書第7集）
- 近江八幡市教育委員会（2012）『安土城下町遺跡十七地区21次調査概要報告書』（近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書46）
- 大津市教育委員会（2013）『大津城跡発掘調査報告書』（大津市埋蔵文化財調査報告書70）
- 加藤達夫（2015a）『滋賀県とその周辺における石臼の産地に関する一考察—彦根市妙楽寺遺跡出土の石臼を中心として—』（紀要28、公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
- 加藤達夫（2015b）『膳所城遺跡出土の石臼について—下臼の形状に注目して—』（淡海文化財論叢 第七輯 淡海文化財論叢刊行会）
- 國分政子（1997）『中世後期近江の石臼と石工について—中主町吉

- 地大寺遺跡出土石臼の検討より—』（『滋賀考古』18、滋賀考古学研究会）
- 五箇荘町教育委員会（1995）『五箇荘町埋蔵文化財発掘調査年報X』（五箇荘町文化財調査報告31）
- 湖北町教育委員会（1976）『史跡小谷城跡環境整備事業報告書』
- 財団法人滋賀県文化財保護協会（1991）『滋賀文化財だより』No.156
- 滋賀県教育委員会（1971）『観音寺城跡整備調査報告書』
- 滋賀県教育委員会（1995）『特別史跡安土城跡発掘調査報告書5』
- 滋賀県教育委員会（1996a）『特別史跡安土城跡環境整備事業概要報告書Ⅲ』
- 滋賀県教育委員会（1996b）『特別史跡安土城跡発掘調査報告書6』
- 滋賀県教育委員会（1997）『特別史跡安土城跡環境整備事業概要報告書Ⅳ』
- 滋賀県教育委員会（1973）『国道8号長浜バイパス関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1983）『新庄城遺跡・正殿寺南遺跡・針江中遺跡・針江北遺跡発掘調査概要』（国道161号線バイパス関連遺跡調査概要（昭和57年度）3）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1986）『葉山川改修工事に伴う栗東町久徳家墓地遺跡発掘調査報告書』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1987）『塔中川荒廃砂防工事に伴う宝持坊遺跡発掘調査報告書』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1988a）『宇曾川災害復旧助成事業に伴う肥田城遺跡発掘調査報告書』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1988b）『敏満寺遺跡発掘調査報告書』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1989a）『宇曾川災害復旧助成事業に伴う妙楽寺遺跡Ⅲ』
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1989b）『桜内遺跡』（北陸自動車道関連発掘調査報告書XⅠ）
- 滋賀県教育委員会（1990）『尼子西遺跡2』（ほ場整備関係発掘調査報告書XXV-2）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1991）『新庄城遺跡』（一般国道161号（高島バイパス）建設に伴う新旭町内遺跡発掘調査報告書Ⅱ）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1992）『錦織遺跡—近江大津宮関連遺跡—』
- 滋賀県教育委員会（1993）『慈恩寺・金剛寺遺跡』（県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅸ-4）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1994）『後川遺跡・高木遺跡・八甲遺跡』（ほ場関係遺跡発掘調査報告書XXⅠ-9）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1997）『正楽寺遺跡』（正楽寺谷荒廃砂防工事事業に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1998）『上田上牧遺跡Ⅰ』（ほ場関係遺跡発掘調査報告書XXV-1）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1999）『後川遺跡Ⅱ』（県道下豊浦鷹飼線道路改良工事に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2000）『上田上牧遺跡Ⅲ』（ほ場関係遺跡発掘調査報告書27-2）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会2002『敏満寺西遺跡』（ほ場整備事業関係遺跡発掘調査報告書29-2）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2003）『上平寺南館遺跡・寺林遺跡』（中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査

報告書2)

- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2004）『敏満寺遺跡』（名神高速道路（多賀サービスエリア）改良事業に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2005a）『膳所城下町遺跡』（滋賀県立膳所高等学校校舎など改築工事に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2005b）『里井B遺跡』（日野川広域河川改修工事に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2005c）『中畑遺跡Ⅱ』（草津川改修事業ならびに草津川放水路建設事業に伴う発掘調査報告書Ⅷ）
- 滋賀県教育委員会・滋賀県文化財保護協会（2007）『総持寺遺跡』（都市計画道路長浜駅宮司七条線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2008）『高野城遺跡』（近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う発掘調査報告書3）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2009a）『肥田城遺跡Ⅰ』（ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書36-1）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2009b）『野村北遺跡・小山遺跡・陣屋遺跡』（ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書36-2）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2010）『肥田城遺跡・肥田西遺跡・鶴田遺跡』（ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書37-1）
- 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2012）『清滝寺遺跡・能仁寺遺跡』（能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2013a）『佐和山城跡』（中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書3-3）
- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2013b）『浄土屋敷遺跡Ⅱ』（ほ場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書40-1）
- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2014）『清滝寺遺跡能仁寺遺跡Ⅱ』（能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書2）
- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2015a）『松原内湖遺跡Ⅲ』（琵琶湖流域下水道事業（東部浄化センター増設工事）に伴う発掘調査報告書Ⅲ）
- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2015b）『狛

氏館遺跡』（ほ場整備関係（経営体育成基盤整備事業）遺跡発掘調査報告書42）

- 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2015c）『関津遺跡2』（国道422号道路改築事業に伴う発掘調査報告書）
- 滋賀県立安土城考古博物館（2014）『平成25年春季特別展 しのをけつり、鐔をわり -近江の城、信長とかく戦えり-』
- 高島市教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2010）『西万木遺跡』（高島市文化財調査報告書第12集）
- 多賀町教育委員会（2003）『橋崎古墳群』（多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書第12集）
- 多賀町教育委員会（2008）『敏満寺遺跡』（多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書第19集）
- 中主町教育委員会（1988）『光明寺遺跡第15次発掘調査報告書』（中主町文化財調査報告書16集）
- 彦根市教育委員会（2012）『一ツヤ遺跡Ⅰ』（彦根市埋蔵文化財調査報告書第52集）
- 秦荘町教育委員会（1986）『島川遺跡発掘調査概要報告書（事業名大間寺・他遺跡発掘調査）』（秦荘町文化財調査報告書第3集）
- 東近江市教育委員会（2007）『百斉寺遺跡発掘調査報告書』（東近江市文化財調査報告書第2集）
- 東近江市教育委員会（2010a）『高野遺跡・高野館遺跡』（東近江市埋蔵文化財調査報告書第9集）
- 東近江市教育委員会（2010b）『地蔵遺跡（1次）・五個荘堂田遺跡（10次）・猪子遺跡（1-2次）・斗西遺跡（25次）・千里遺跡（3次）』（東近江市埋蔵文化財調査報告書第15集）
- 三輪茂雄（1975a）『挽き臼の形態と目の刻みについて』（『民俗文化』144, 滋賀民俗学会）
- 三輪茂雄（1975b）『石臼の謎 - 産業考古学への道 -』（産業技術センター）
- 守山市教育委員会（2012）『欲賀南遺跡発掘調査報告書』
- 野洲市教育委員会（2004）『1999年埋蔵文化財調査年報』
- 野洲市教育委員会（2005）『野々宮遺跡発掘調査概要』
- 竜王町教育委員会（2015）『竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成24, 25年度』（竜王町埋蔵文化財発掘調査報告書第14集）

挿図・表典拠

図1・2 加藤作成。

図3 伊吹町教育委員会1994を参考に加藤作成。

図4 加藤が実測・トレースして作成。

表1 加藤作成。

（かとう たつお：滋賀県埋蔵文化財センター）

ANNUAL BULLETIN
of
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage
Vol.29 2016.3

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritages